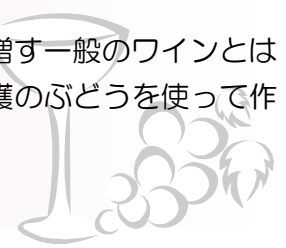


ボージョレヌーボーの解禁日も間近ですね。

今年収穫のぶどうを使って作られる新酒がボージョレヌーボーだそうです。

もともとぶどう栽培農家の収穫祭的な意味合いが強く、熟成によって風味を増す一般のワインとは一線を画すヌーボーですが、今年収穫のぶどうの出来具合（ひいては今年収穫のぶどうを使って作られるワインの出来具合）を占う唯一の機会でもあるのだとか。

だとすれば、ボージョレヌーボーも気になるのは私だけでしょうか？



☆ **2008年「クリスマス会(忘年会)」のご案内** ☆

2008年もあと2ヶ月となりました。今年は、フランス語部が立ち上げられ、教室やいろいろな講演会で日仏交流をしてまいりました。今年の締めくくりとして、今回のクリスマスイベントはフランス語部が中心となり、今まで講演して下さったフランスの方々にも参加していただき、楽しいクリスマス会にしていく予定です。2008年市民の会忘年会も兼ねております。ぜひ、多くの会員の皆様に参加していただきたく、次の通りご案内いたします。(牛田洋子さん記)

- 開催日：12月6日(土)
- 時間：午後2時 ~ 午後4時
- 場所：フレンテ5F 練習室
- 会費：¥2,000
(+持込も大歓迎です！)



ご参加いただける方は11月20日までに

FAX・メール・電話にて、ご連絡いただきますようお願いいたします。

E-mail・・・info@nleg.net

参加者氏名をご送信ください。

T E L・・・0798-35-3468

秘書・国際課/松浦さんまで。

F A X・・・0798-32-8673

参加者氏名と「クリスマス会参加申込」とご記入の上送信してください。

Joyeux Noël !!

☆ Bonjour la France ! フランスを知ろう 第3回ご案内です ☆

今回のゲストは、金盛美和さんです。関西外大在学中にノルマンディー地方のカン大学に交換留学。卒業後、仏系会社就職を経て、2007年兵庫県国際交流協会が主催するフランス セーヌ・エ・マルヌ県との交流事業の一環で兵庫県の代表として選出され、10ヶ月間の両県の交流推進活動をされた経歴をお持ちのステキな女性です。日本語でお話くださいます。



皆さんこんにちは！

今回11月の『フランスを知ろう』でゲストとしてお話をさせて頂くことになりました金盛美和です。

私のフランス語との出会いは大学時代の第二外国語の授業でした。

くじけそうになりながらも、毎日毎日すこしずつ続けてきたフランス語。

そのフランスへの愛が大きく実ったのが今年7月まで任期を務めた兵庫県とセーヌエマルヌ県との交流活動です。この経験により、素顔のフランス、ありのままのフランスを見つめることができました。

私の10か月間の経験、また肌で感じたフランスについて、今回お話できればと思います。

開催日：11月22日（土）

時間：午後2時～午後3時30分

場所：フレンテ4F 国際交流協会会議室

会費：会員 500円 非会員 800円（会員の紹介をうけた方に限ります）

※ 当日、お支払いください

【参加申込・問合せ】 NLEG フランス語部まで、できるだけメールで：

bonjourlafrance@hotmail.co.jp まで

（非会員の方は、電話番号・紹介者の氏名もお願いします）

【しめきり】 11月20日

☆ Bonjour la France ! フランス語でしゃべろう 第3回ご報告です ☆

10月11日（土曜日）、ひょうご海外研修員のジャン・ジャック・モクさんをゲストにお迎えしました。参加者7名とこじんまりと、和気あいあいとした雰囲気でした。

前もって「『débutant(初心者)』向けにお願いします。」と伝えていたので、饒舌になりかけると「いけない、いけない。」と、日本語に切り替え、四苦八苦して説明し直して下さいました。（意味不明なところも多々ありましたが^^；ご愛嬌で…）

今回は、一方的にお話を聞くのではなく、質問形式で15分程度、自己紹介、生まれ育った町、研修中の仕事のことなどをパワーポイントを使って説明頂き、後は質問を通じて会話を進めました。

「フランスに帰ってから仕事は簡単に見つかりますか？」という質問に、「PCのプログラムなど僕のような仕事ができる人は少ないので、就職は心配ない」と…。

こんな就職難のご時世でうらやましい限りですよ。

また、日本の男性が sac à main(手提げバッグ)を持っているのはとても bizarre(おかしい)な印象を受けると…。フランスでは sac à main を持つことはとても女性的なことらしいです。

ちなみに、PCを入れるようなビジネスバッグのようなのなら違和感ないそうですよ。

モクさん、10月25日にフランスに帰国されるとのことで、再会は難しいかもしれませんが、もし、また、日本に来られることがあったら、是非、お会いしましょう！と全員と握手をしてお別れました。

フランスの方に限らず、人との出会いは大切にしたいですね。（榎尾裕美子さん記）

☆ 『西宮再発見スケッチ会』のご報告です ～絵画部～ ☆

11月1日(土)12時定刻、はね橋が開いた。

「土日祝の休日のみ5回」と決まった橋の開閉ショー。その日、第2回目のデモンストレーションである。

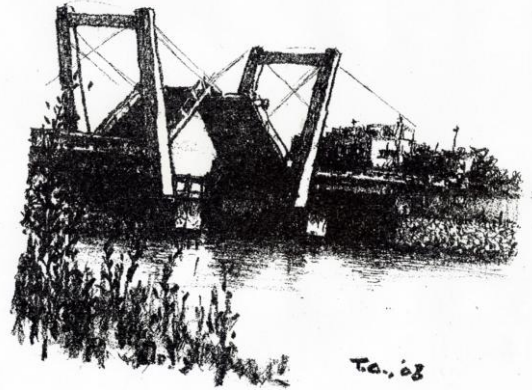
此処、西宮大橋と併行して架けられた御前浜橋。自転車・歩行者専用のこの跳ね橋は19世紀末、フィンセント・ファン・ゴッホが描いたあの「アルルのはね橋」と構造の原理が同じである。大急ぎで画帳の次のページを開いてスケッチを試みるが、この格式の差! ああ、偉大なりゴッホ。ま、いいか、「至福」。そう、武居先輩が、いみじくもつぶやかれたごとく、好天の下、気のおけない仲間達と無心に過ごすお絵かきのひとときの至福。

思わぬハプニングもあった。旧西宮ヨットハーバー港内の繫留場付近での突然の入場制限だ。数週間前の同じ土曜日の下見で、西宮マリーナから事前の承諾を取り付けた上でのスケジュール組み立てであったのだが、人が変わって集団の来襲におそれをなしたのかもしれない。問答は省略したが、参加者各位には申し訳ない事であった。

それもあったが約4時間。秋晴れの下、日焼けを気にしながら、それぞれが思い思いに港内風景、六甲山遠景、跳ね橋寸描等々、西宮港内での楽しい一日を拾った。

帰途、立ち寄ったコーヒーショップ“LA PAS”での合評会も得難い交流のひとときであった。早描きスケッチはしばしば大作に生まれ変わる。どなたかのこの日のスケッチが、見事なタブローとなって、やがて次回の第12回アジャンスケッチ旅行会作品展を賑わせるかもしれない。

(越智 強さん記)



☆ 松谷画伯の作品「いち(一)」が西宮で展示中 ☆



(写真はアジャン市アンドレ・マルロー文化センターにて)

2007年秋、アジャン市のアンドレ・マルロー文化センターで開催された松谷武判画伯の展覧会の初日(9月28日)に、同画伯が会場で制作された作品『いち(一)』が西宮で展示中です。

場 所：甲風画苑ストリートギャラリー

(西宮市甲風園1-7-8)

T E L：0798-67-9174

期 間：11月30日まで

☆ 八木米太郎さん市長選に出馬 ☆

市民の会会員である八木米太郎さんが、11月16日投票の西宮市長選に立候補されました。

(投票は各自の判断でご自由をお願いします。)

八木米太郎さんは、友好提携10周年記念旅行団の一員としてアジャン市を訪問された直後からの会員です。文教住宅都市の再興をスローガンにされています。

☆新入会員をお迎えしました☆

10月は2名の新入会員をお迎えしました。

山口博史さん。

仏蘭西を意識し始めたのは陸上選手であった私がローマ、東京五輪で活躍し世界記録保持者であったミシェル・ジャジの影響でその活躍は高校生の私には刺激的だった。ベトナム戦争、我国の米国偏重の風潮に反発し大学は英語を余り必要としない法科に進んだ。外書購読では仏蘭西法を専攻した。法曹を志したが夢破れ就職。海外事業部門が長く主にスペイン語圏に勤務したが、70年代に英国、イタリアなどで仏蘭西語が得意な人と出会ったときは互いに親近感を抱いたものである。ポルポト政権のカンボジアやベトナム戦争から母国を棄て安住の地を仏蘭西に求め、幾多の苦難を乗り越えたインドシナ難民の話聞くのも楽しみであった。既に30年が経ち仏蘭西や仏蘭西語は遠い存在になったがスペイン、仏蘭西、イタリアなど地中海沿岸諸国が好きで晩年はいずれかの地で暮らしたい。「法の精神」を執筆したモンテスキューが幼少年時代をアジャンで過ごしており、いつか同市を訪ね足跡を辿ったり近郊をドライブ、Auberge に泊まりワインを楽しみ、運河の船旅をしたいものである。アジャンはスペインの Toledo、米国の Corpus Christi など5都市の姉妹都市と活発に交流を行い Toledo にはアジャン通りがあるが、いつか西宮にアジャン通り、アジャンに西宮通りが相互に誕生するほどに彼我間の市民交流が活発になる事を期待したい。

矢阪真規子さん。

はじめまして、神戸三宮で帽子職人をやっている矢阪真規子と申します。

帽子の勉強を始めた頃からフランスに興味を抱き、数年前からフランスの田舎町に旅するようになり、フランスの田舎にも興味がわきインターネットでこの会のことを知りました。

フランス語も習い始めて時間だけが経つんですが、なかなか上達もせず…

西宮市民ではないのですが、交流会に参加し、たくさんの人たちとフランスの話がしたいと思います。ぜひ入会させて頂きたいです。

どんな帽子でも作れますので、何かお手伝いできることがあればなんでも申し付けください。

水曜日が仕事が休みですので、なかなか会の方には参加できないかもしれませんがどうぞよろしくお願ひ致します。

☆編集後記☆

秋の夜長の最近のお供はインターネットラジオです。

今は radio france (ラジオフランス) の france musique (フランスミュージック) が特にお気に入りです。クラシックがメインで流れます。時折挟まれる会話ではリスニングに挑戦もしてみます。聞き取れる事はまれですが、興味のある方はぜひ。トップページの「direct」をクリックすれば、その時刻(現地時間)に放送されている番組を同時進行で聴くことができます。 <http://www.radiofrance.fr/francemusique/accueil/> (飯)

事務局 〒662-0911 西宮市池田町11-1 フレンテ西宮4階 秘書国際課内

Tel : 0798-35-3468 Fax : 0798-32-8673

HP : <http://nleg.net> e-mail : info@nleg.net